



長野県飯田市における 防災情報の一斉送信に 関する取り組み

2018.05.24

災害情報伝達手段の一斉送信機能の導入促進に関する検討会

長野県飯田市危機管理室

次長補佐 後藤 武志

日本危機管理士機構認定・危機管理士1級
人と防災未来センターDisaster Manager(Gold)
一般社団法人 危機管理教育研究所 上席研究員
総務省 災害マネジメント総括支援員

災害時における各情報媒体への自動配信システム構築

01 全国初の構築

平成23年9月21日から運用開始

※ au・ソフトバンク「緊急速報メール」は24年10月から自動連携

※Twitterは25年5月、Facebookは25年12月から自動連携

手入力情報（青線）避難勧告・指示など



A社システム

統一入力
フォーム

インターネット網



◎緊急情報は定型文を自動送信【整備済】

赤線は、自動起動・連携

緑線は、音声自動起動・連携



J-ALERT

土砂災害警戒情報、
即時音声合成情報等

自動起動機

防災行政無線（同報系）

フリーダイヤル

CATV安心ほっとライン（音声告知端末）

音声告知とあわせて各媒体同時に情報発信

NTTドコモ エリアメール
au・ソフトバンク 緊急速報メール

Twitter・Facebook

いいだ安全安心メール

CATV
データ放送

地域情報
アプリ

いいだFM防災アプリ



さらに！

防災情報媒体への自動配信システムの構築へ

02 今後の整備予定 (実線：整備済、破線：整備予定、塗りつぶし：更新予定)

※いいだ安全安心メールとエリアメールとの自動連携は平成23年9月21日から運用開始

※ au・ソフトバンク「緊急速報メール」は24年10月から自動連携

※ Twitterは25年5月、Facebookは25年12月から自動連携

① 手入力情報 (青線)

- ・ 道路通行止情報、火災発生、鎮火など



A社システム

統一入力
フォーム

インターネット

② 自動入力 (赤線)

- ・ 土砂災害警戒情報、
・ 即時音声合成情報など

J-ALERT

自動起動機



③ テキスト手入力 (緑線)

- ・ 避難勧告・指示など



防災行政無線
(同報系)

飯田広域消防
消防同報遠隔制御装置

④ 音声自動入力 (緑線)

- ・ 火災発生、鎮火

NTTdocomo エリアメール
au・ソフトバンク 緊急速報メール

Twitter・Facebook

いいだ安全安心メール

市公式Webサイト

いいだFM防災アプリ

CATV
データ放送

地域情報
アプリ

防災行政無線
アプリ

戸別受信機

飯田エフエム放送

緊急告知ラジオ

CATV安心ほっとライン (音声告知端末)

防災行政無線フリーダイヤル

赤線は、
自動起動・連携

緑線は、音声 (テキ
ストデータの自動読
み上げを含む) 自動
起動・連携



同報系防災行政無線更新計画 ～概要～

スプリアス基準適合期限の
平成34年11月末に向けて

□市民・議会からの声：聞こえない、何を言っているかわからない！

← 昭和55年から整備開始。37年が経過し老朽化

更新に向けた方針 → 現状よりも屋外で聞こえやすく！大雨災害リスクの高い地域の建物内に情報を伝える！

現状：操作卓3卓、可搬1卓
中継局2局
屋外拡声子局282局
戸別受信機1,000台



現状どおり更新

事業費
1,717百万円

操作卓1卓、遠隔2卓
中継局2局
再送信子局8局
屋外拡声子局282局
戸別受信機1,000台
(上・南信濃のみ)



更新案

事業費
1,469百万円

- ・操作卓1局、非常用卓1卓
- ・遠隔制御卓2卓（上・南信濃）
- ・再送信子局7局
- ・中継局2局（市役所→上村炭焼山→南信濃森山）
- ・屋外拡声子局 標準172局
高性能SP33局
文字表示2局
撤去のみ80局
- ・戸別受信機 標準500台
外部アンテナ1,050台
文字表示50台
- ・防災ラジオ 350台

▲248
百万円

改
善
内
容

- スピーカーの更新
→明瞭性の向上
- 高性能スピーカー導入
→音達範囲が拡大
→子局の削減・反響の減
- 土砂災害特別警戒区域居住者へ戸別受信機又は防災ラジオを無償貸与
- 天竜川L1浸水想定区域の住宅へ防災ラジオを無償貸与
→災害リスクの高い居住者へのプッシュ型情報伝達手段を確保
- 聴覚障がい者向け文字表示型戸別受信機の無償貸与

※建物内等への情報伝達をより確実にしていくため①防災行政無線受信アプリ、②テレビプッシュ型情報配信システム（音声告知端末の更新）を導入

	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度
事業内容	親局（1局） 既設システム連動 屋外拡声子局 高性能SP1局（飯田）	再送信子局 標準2局（飯田） 屋外拡声子局 標準47局（飯田） 高性能SP16局（飯田）	再送信子局 標準2局（飯田） 高性能SP1局（飯田） 屋外拡声子局 標準41局（飯田） 高性能SP16局（飯田）	非常用卓1卓 遠隔制御1卓（上村） 再送信子局 標準2局（上村） 屋外拡声子局 標準50局（飯田・上村） 戸別受信機・ラジオ（飯田）	遠隔制御1卓（南信濃） 屋外拡声子局 標準36局（遠山） 戸別受信機（遠山） 子局撤去80局
年度別事業費 （単位：千円）	92,101	370,130	363,960	407,905	262,735

災害情報伝達手段の多様化と維持経費

04 システム運用にかかる経費

- エリアメール（緊急速報メール）3キャリア・SNS・登録型メール連携

A社 年額**591,300円**

気象情報提供・安否確認機能付き、3,000件まで（職員参集用）

- 市民向け登録型「いいだ安全安心メール」（30,000件まで 近隣町村と共同利用）

B社 年額 **1,555,200円**（月額120,000円税別）

- いいだFM防災アプリ

運用費用の1/2を飯田エフエム放送へ委託料として支出

年額**388,800円**（月額30,000円税別）

※同報系防災行政無線の整備に合わせて、防災行政無線アプリなどの導入を予定

※防災行政無線整備工事については、現在プロポーザルによる提案書を受付中の段階。



平成30年9月・第3回定例市議会で可決後、本契約予定

05 システム運用にかかる課題

課題

J-ALERT連携の場合、「土砂災害警戒情報」発表時、市域を分割して配信できない。〔飯田地域と上村南信濃地域に分割して当該情報は発表される。〕



災害情報伝達手段の多様化と耐災害性の向上

平成30年度末
リニューアル予定

05 多様な伝達手段・災害情報ガイドの配布

災害時における情報伝達方法

□…放送をアナウンサーが
告知して放送

●…放送されるがその時点で情報の即時性がない (音・文) …音は音、
※夜間等に大規模災害が発生した場合には、飯田エフエム放送(76.3MHz)を

情報媒体	種別	情報の種類								
		火災	ゆれる前 東海地震 予知情報	緊急 地震速報 (震度5.0 以上)	緊急 地震速報 (震度4 以下)	震度速報 (震度5弱以上)	土砂災害 警戒情報	避難情報	行方不明者	事件等の 情報
市では、防災行政無線を始めとして、さまざまな手段を用いて情報発信を行います。災害時の状況によって情報媒体も影響を受けますので、市民の皆さんも、複数の手段を活用し、情報を入手していただきますようお願いいたします。										
1 防災行政無線 【同報系屋外子局】	無線告知	○	○	○		○	○	○	○	○
2 防災行政無線フリーダイヤル 【0120-915-460】	NTT電話	○	○	●		○	○	○	○	○
3 火災告知・テレホン案内 【22-5500】	NTT電話	○								
4 いいだ安全・安心メール 【火災】	電子メール	○								
5 いいだ安全・安心メール 【気象・災害・警報ほか】	電子メール		○			○	○	○	○	○
6 NTTdocomo「エリアメール」 au、ソフトバンク「緊急速報メール」 【対応機種】	携帯電話・スマートフォン		○	○				○		
7 飯田市webサイト 【ホームページ】	インターネット		○				○	○		○
8 飯田エフエム放送 【76.3MHz】	FMラジオ	□	○	○		□	□	□	□	□
9 飯田ケーブルテレビ 【12ch・結びチャンネル】	ケーブルテレビ	○ (音・文)	○ (音・文)	○ (音)	○ (音)	○ (音・文)	○ (音・文)	○ (音・文)	○ (音・文)	○ (音・文)
10 飯田ケーブルテレビ 【音声告知端末】	ケーブルテレビ	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11 ツイッター、フェイスブック	SNS		○			○	○	○	○	○

いいだ安全・安心メールを配信しています

市では、火災発生や事件・事故などの情報をメールで配信しています。このサービスを利用するためには、次のとおり利用登録が必要です。ぜひ登録をしてください。

登録方法

1 携帯電話またはパソコンから、次のアドレスにメールを送信してください。(姓または本文を入力する必要があります)

火災情報	lida_kj@mame.jp
事件・事故情報、不審者情報、 気象・災害情報、 行方不明者情報、その他の情報	lida_jh@mame.jp

2 登録メールに記載された登録用ホームページのアドレス(URL)をクリックしてください。

3 ガイドラインに従って利用登録をしてください。(登録完了)

登録上の注意

- すべての情報が必要な場合は、それぞれ登録をしてください。
- 携帯電話の設定でインターネットからのメールを受信拒否している場合は、city.lida.nagano.jpを受信したいメールアドレスの項目に登録してください。
- URL付きメールの受信を許可してください。

市が発表する避難情報

避難情報	発表される状態	皆さんの行動
避難指示 危険です。今すぐ避難を	◆前兆現象の発生、現在の切迫した状況から人的被害の発生する危険性が非常に高いと判断された状況、または人的被害の発生した状況です	◆危険です。速やかに避難所に避難してください ◆建物の周辺などを避け、あおてす落ちないで行動してください
避難勧告 避難を開始してください	◆人的被害の発生する可能性が明らかに高まった状態 ◆避難行動を開始しなければならぬ段階	◆避難の心得を確認し、家族、近所でお互いに助け合いながら避難所に避難を開始します
避難準備情報 避難準備、自主避難の目安に	◆人的被害の発生する可能性が高まった状態 ◆災害時に避難を必要とされる方など、避難に時間を必要とする方が行動を開始しなければならない段階	◆いつでも避難できるように準備を整え、災害情報に注意してください ◆高齢者や子どもは避難所に避難させてください

※地方公共団体における災害情報等の伝達のあり方等に係る検討会報告書(平成24年12月)にも掲載される

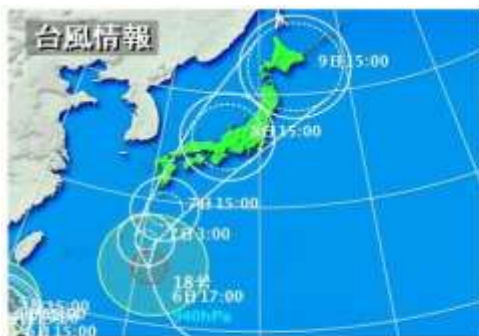


情報の収集とその活用

06 情報をいのちを守るための行動につなげる



どの情報を得たかよりも、
得た情報を元に、
いつどのように行動するかが大切



★ 近年の状況(報告書等)

○地方公共団体における災害情報等の伝達のあり方等に係る検討会報告書

—住民に対する情報伝達手段の整備及び管理・研修等に係る基本的な考え方—

平成24年12月 地方公共団体における災害情報等の伝達のあり方等に係る検討会【総務省消防庁】

※「飯田市災害情報ガイド」事例

○災害情報伝達手段の整備に関する手引き（住民への情報伝達手段の多様化実証実験）

平成25年3月【総務省消防庁防災情報室】

※「飯田市災害情報ガイド」「情報伝達手段の多様化・自動連携」事例

○2013防災教育チャレンジプラン優秀賞受賞

平成26年2月【内閣府（防災担当）、防災教育チャレンジプラン実行委員会】

※「災害伝承紙芝居の制作・普及啓発活動」（飯田市赤十字奉仕団紙芝居班）

○内閣府広報誌 ぼうさい 防災リーダーと地域の輪 第20回

平成26年秋号（第76号）【内閣府（防災担当）】

※「紙芝居で災害伝承」事例

○地域における防災教育の実践に関する手引き

平成27年3月【内閣府（防災担当）、防災教育チャレンジプラン実行委員会】

※「災害伝承紙芝居の制作・普及啓発活動（飯田市赤十字奉仕団紙芝居班）」事例



○水害時の避難・応急対策検討ワーキンググループ報告書

平成28年3月 水害時の避難・応急対策検討ワーキンググループ【内閣府（防災担当）】

※「防災担当者相互の“顔の見える関係づくり”（飯田市・君津市）」事例

★ 近年の状況(報告書等)

○災害リスク・コミュニケーションに関する調査報告書

平成28年11月 【総務省消防庁】

※「地区防災計画策定の手引」事例

○避難勧告等に関するガイドライン・参考事例集

平成29年1月 【内閣府(防災)】

※「わが家の避難計画づくり」事例

○避難行動要支援者の避難行動支援に関する事例集

平成29年3月 【内閣府(防災担当)】

※「災害時助けあいマップ策定マニュアル・地区防災計画」事例

○中越大震災ネットワークおぢや 平成28年度活動報告書

平成29年4月 【中越大震災ネットワークおぢや】

※「平成28年熊本地震 先遣隊派遣報告」事例

○市町村の災害対策本部機能の強化に向けて ～防災情報システム活用事例集～

平成29年7月 【総務省消防庁国民保護・防災部防災課】

※「常設のオペレーションルームを備えた危機管理センター」事例

○命を守る 水害読本

平成29年7月 【毎日新聞出版】

※「飯田市の減災メゾット(オペレーションルーム、First Mission Box、わが家の避難計画づくり)」

